

令和6年6月

水

意

月

# あ お ぞ ら

鹿屋市青少年育成センター

第400号

鹿屋市 共栄町 20-1 TEL 31-1138  
(鹿屋市教育委員会 生涯学習課)

## 「地域の方の思いを大切に」

鹿屋市立西原小学校 校長 小林 晋也

平成26年度に鹿屋市学校運営協議会設置規則が施行され、本校におきましても、コミュニティスクールとして家庭、地域との協働運営を進めております。コミュニティスクールの機能を十分に生かすためには、地域との連携強化が不可欠です。そこで、自ら町内会の顧問として協力を志願し、町内会の会合やイベント等に参加する機会を増やすことにしました。どの場においても、子どもたちの元気な姿や喜ぶ姿を見たいという声が多く聞かれ、本当に純粋な願いを持っていらっしゃることを改めて認識できました。また、学校だけでは課題解決が困難な現況を話すと、協力は惜しまないという応援の声も多数いただきました。

今年度、さらに地域の方と学校との距離を近づけるために、保護者や地域の方が不定期に学校内を巡視し、子どもたちへの声かけや支援を直接行う「スクールサポーター制度」の導入を検討しております。他校で実践している例もありますが、本校では初めての試みであります。あらゆる観点から慎重に進めていく必要がありますが、地域の方々の心強いお言葉をいただいたことで、躊躇せず、強い意志を持って実行に移す覚悟ができたと感じております。



毎年、5月上旬の大型連休が明けた頃、新1年生の全員に素敵な贈り物が届きます。それは、色彩豊かな「蛙」の折り紙で、校区に住んでいらっしゃる児童委員の方からの贈り物です。丁寧な仕上がり具合から、一つ一つ丹精を込めて折られたことが容易に想像でき、費やされた時間を考えると、本当に頭が下がります。また、折り紙の蛙には、必ず手紙が添えてあり、達筆な文字で「みなさんが元気に『ただいま』とおうちに『か・え・る』ことができますように。」と書かれています。

元気に『ただいま』



おうちに『かえる』ことができますように

子どもたちのことを大切にしたいという思いは、様々な形で学校に届けられます。毎日の登下校時における安全指導やあいさつ運動も、その一つです。

今後も、それらの思いをしっかりと受け止め、三者一体となって、子どもたちの健やかな成長を見守っていきたいと思います。